



Hepatica falconeri の故郷・中央アジアの山地

World of *Hepaticas*

世界の *in Hakone* 雪割草展

Produced by 大野好弘

2024.

3.16 ▶ 3.17

SAT. 9:00~17:00 SUN. 9:00~16:00

ミスミノウ
Hepatica japonica var. *japonica* (日本)



マキシマ
Hepatica maxima (韓国)



ファルコネリ
Hepatica falconeri (中央アジア)



ノビリス
Hepatica nobilis var. *nobilis* (ヨーロッパ)



ノビリス *Hepatica nobilis* var. *nobilis*

★ 世界の原種へパティカ ★

雪国に自生するオオミスミソウ（*Hepatica* 属の一種）は、「雪割草（一般名）」と呼ばれ、早春には欠かせない園芸植物として親しまれていますが、世界には魅力的な *Hepatica* 属の植物が多数存在します。本イベントでは世界に分布する原種へパティカをご紹介します。

★ 新種「トサミスミソウ」の特別展示 ★

高知県で発見され、2023年に記載されたばかりの新種「トサミスミソウ *Hepatica tosaensis*」を特別公開。神奈川県下では、初の展示となります。



トサミスミソウ *Hepatica tosaensis*



オオミスミソウ *Hepatica japonica* var. *magna*

★ 200株のオオミスミソウと山野草による自生地再現ディスプレイ ★

雪国の妖精と呼ばれるオオミスミソウの自生地である里山を模した会場に約200株が咲き乱れます。



雪割草をモチーフにしたもの

★ 雪割草をモチーフにしたボタニカルアートや工芸品 ★

カーティスなどのボタニカルアート、雪割草がモチーフとなっているもの、雪割草の絵画、押し花アートなどを展示します。

～講演会①「世界の雪割草について」～

雪割草（*Hepatica*）を求めて、各地を調査している演者が、実際に訪れた中央アジアやヨーロッパの自生地と魅力あふれる世界の雪割草（*Hepatica*）についてご紹介します。

講師：大野好弘 日時：令和6年3月16日（土）13:00～14:30
場所：箱根湿生花園 管理棟2階レクチャールーム 定員：25名

～講演会②「新種発見について」～

2023年に大野氏によって新種として発表された「トサミスミソウ」を中心に、国内に自生する雪割草（*Hepatica* 属）について解説します。

講師：大野好弘 日時：令和6年3月17日（日）13:00～14:30
場所：箱根湿生花園 管理棟2階レクチャールーム 定員：25名

大野好弘

1973年神奈川県生まれ。様々な山野草やコケを栽培する園芸研究家として活躍し、特に雪割草については、40年を超える経験を持つ。現在、World Hepatica Laboratory（ワールド・へパティカ・ラボラトリー）を立ち上げ、成蹊大学と *Hepatica*（へパティカ：キンポウゲ科スハマソウ属の総称）の共同研究を行っている。



※ 講演会のお申し込みは、箱根湿生花園 0460-84-7293 まで

ご利用案内

通常営業 9:00～17:00（最終入園 16:30）
大人（中学生以上）700円 小人（小学生）400円

アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス（桃源台行）“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス（湿生花園行）終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

箱根湿生花園

<https://hakone-shisseikaen.com>

